



## 2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年10月28日

上場会社名 株式会社ルネサンス

上場取引所 東

コード番号 2378 URL <https://www.s-renaissance.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 岡本 利治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員最高財務責任者 (氏名) 安澤 嘉丞

TEL 03-5600-5312

四半期報告書提出予定日 2020年11月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト・マスコミ向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	12,546	45.2	2,916		3,066		3,065	
2020年3月期第2四半期	22,904	0.5	1,834	2.6	1,716	1.9	1,090	12.8

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 3,055百万円 ( %) 2020年3月期第2四半期 1,099百万円 ( 11.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	180.50	
2020年3月期第2四半期	66.95	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	48,106	15,621	32.5
2020年3月期	39,765	16,092	40.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 15,621百万円 2020年3月期 16,092百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		17.00		9.00	26.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正につきましては、本日(2020年10月28日)に公表いたしました「連結業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,000	29.0	4,000		4,500		4,500		250.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正につきましては、本日(2020年10月28日)に公表いたしました「連結業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	21,379,000 株	2020年3月期	21,379,000 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	2,490,706 株	2020年3月期	5,094,206 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	16,981,907 株	2020年3月期2Q	16,282,124 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信(添付資料)1ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	1
(1) 経営成績に関する説明 .....	1
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(追加情報) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2020年4月1日～9月30日)において、新型コロナウイルス感染症(以下「本感染症」という)拡大防止のため政府が発出した緊急事態宣言による自治体からの休業要請にともない、当社は、4月8日以降順次介護リハビリ施設を除くすべての施設を休業いたしました。6月より営業を再開しましたが、その後も本感染症の影響により、入会者数の減少、退会者数及び休会者数の増加等が続いたため、売上高は125億46百万円(前年同期比45.2%減)となりました。また、売上高の減少により、営業損失は29億16百万円(前年同期営業利益18億34百万円)、経常損失は30億66百万円(前年同期経常利益17億16百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は30億65百万円(前年同期親会社株主に帰属する四半期純利益10億90百万円)となりました。なお、4月及び5月の休業期間中に発生した固定費等を特別損失に、休業に伴い受給した雇用調整助成金を特別利益に計上しております。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、本感染症の拡大により、内外需要が急速に冷え込みました。緊急事態宣言解除後、社会経済活動のレベルを引き上げていく中で持ち直しの動きもみられましたが、依然として本感染症の動向を注視する必要性があり、先行きが不透明な状況が続いています。

フィットネス業界においても、本感染症は過去に類を見ないほどの影響を及ぼしており、7月以降第2波の兆候が表れたこと等により、依然として不安定な環境下にあります。

当社は、スポーツクラブ事業において、一般社団法人日本フィットネス産業協会の「フィットネス関連施設における新型コロナウイルス感染拡大対応ガイドライン」の策定に協力し、業界全体で安全に営業ができるよう、いち早く感染防止対策に取り組んでまいりました。しかしながら感染拡大に伴う入会者数の減少、退会者数及び休会者数の増加により、在籍会員数は前年を大きく下回る水準で推移いたしました。結果として、当第2四半期連結累計期間末のスポーツクラブの総在籍会員者数は339,283名(前年同期比19.5%減)となりました。なお、スクール部門においては、入会者数が前年の水準に戻るなど、回復基調にあります。

介護リハビリ事業においては、緊急事態宣言下においても自治体からの要請(高齢者及び要介護認定を受けた利用者の健康維持・増進の継続)により、「元氣ジム」は営業を継続し、感染防止対策を万全に行いながらご利用者の健康維持及び増進に取り組ましました。利用者数は前年度並みに回復しつつあり、社会の「健康インフラ」として重要な役割を担っているため、引き続き本事業に力を入れて取り組んでまいります。

健康ソリューション事業においては、企業向けの健康づくり支援をオンライン化し、在宅勤務者の運動不足解消やコミュニケーション不足対策として活用いただいております。また、住友生命保険相互会社が提供する「Vitality」会員に向けて、自宅からも参加できるオンラインレッスンを提供し、高評価を得ております。自治体向けの健康づくり支援においては、オンラインで開催可能な介護予防教室等の説明会を実施し、非対面での支援事業を開始いたします。地域のまちづくり支援においては、鳥取県境港市にて、株式会社KENが運営する「フィットネス&スタジオ ユミナ 24」の開業支援を行いました。さらに、公共施設等官民連携事業(PPP事業)の事業拡大も進めており、当第2四半期連結累計期間において、新たに2施設(福島県田村市・大分県大分市)の運営を開始いたしました。

当第2四半期連結累計期間の直営施設の出店実績は以下の通りとなります。

出店年月	施設名	施設形態
2020年4月	ジム&スタジオ ルネサンス 綾瀬 (東京都足立区)	スポーツクラブ (新業態)
2020年7月	スポーツクラブ ルネサンス・イオンタウン 山科柳辻 (京都府京都市)	スポーツクラブ
2020年9月	スポーツクラブ ルネサンス 仙台宮町 24 (宮城県仙台市)	スポーツクラブ
2020年9月	ジム&スタジオ ルネサンス 白井 (千葉県白井市)	スポーツクラブ (新業態)

以上の結果、当第2四半期連結累計期間末の国内施設数は、スポーツクラブ 134 施設 (直営 101 施設、業務受託 33 施設)、スタジオ業態 10 施設、リハビリ施設 31 施設 (直営 25 施設、フランチャイズ 6 施設) の計 175 施設となりました。

業績の回復と今後の成長のため、新たな施策にも取り組んでおります。6月よりオンラインレッスンサービス「ルネサンス オンライン Livestream」の開発及び当社公式オンラインショップの立ち上げ等、自宅でも安心して利用できるサービスを開始いたしました。なお、オンラインレッスンサービスは、開始から9月末までに延べ 18,000 名以上の方がレッスンを受講されました。10月以降はシステムを強化し、より多くの方がレッスンにご参加できる体制を整えるとともに、企業や自治体への提供も進めてまいります。公式オンラインショップにおいては、8月にオリジナルマウスカバーを販売開始し、大きな反響がありました。10月以降は新たにオリジナルプロテインの販売を開始するなど、商品ラインナップの拡充を図ってまいります。

長期的な事業の成長に向けては、SOMP Oホールディングス株式会社と、健康維持及び増進に資するサービスの提供やそれらに関するデータの利活用の分野で事業連携の検討を進めております。そのほか、企業間の連携による事業の創出に向けて取り組んでまいります。

また、スポーツクラブ等の休業に伴う売上高の大幅な減少に備え、財務基盤を強化するため、取引金融機関のコロナ特別ファンドを利用し、4月30日に40億円の資金を調達いたしました。さらに、今後の資金需要に対応するため、取引金融機関と総額40億円のコミットメントライン契約を4月27日に締結いたしました。さらに、8月には、SOMP Oホールディングス株式会社及び住友生命保険相互会社の2社に対して、自己株式処分による第三者割当を実施し、約27億円を資金調達いたしました。

出店及び退店の計画につきましては、新しい生活様式などへの対応として、山手線沿線を中心に展開しているヨガ・ピラティススタジオ「ドゥミ ルネサンス」の池袋店を、オンラインとリアルレッスンの融合施設「ドゥミ ルネサンス ライブストリームスタジオ 池袋東口店 (東京都豊島区)」として10月にリニューアルオープンしたほか、ドゥミ ルネサンス 五反田店を、静と動を取り入れた新たなスタジオ業態として、11月にオープンを予定しております。なお、その他のドゥミ ルネサンス5施設は、9月末をもって退店いたしました。スポーツクラブに関しましては、10月に「ジム&スタジオ ルネサンス 登戸 (神奈川県川崎市)」を新規出店いたしました。2021年1月には総合型スポーツクラブ「スポーツクラブ ルネサンス 五月台 (仮称) (神奈川県川崎市)」の新規出店を予定しております。コロナ禍のもとにおいても、様々な形態での出店・運営受託により、より多くの地域の皆さまに健康で快適なライフスタイルを提案してまいります。

既存の施設におきましても、引き続き感染防止対策を徹底し、お客様とスタッフの安全を第一に施設を運営するとともに、各施設ならびに本社部門の業務を見直し、人件費の効率化などコスト改善に取り組み、業績の回復に努めてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

イ. 資産

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ83億41百万円増加し、481億6百万円となりました。これは主に、現金及び預金が増加したこと等により流動資産合計が48億96百万円増加したこと、及びリース資産、繰延税金資産が増加したこと等により固定資産合計が34億44百万円増加したことによるものです。

ロ. 負債

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ88億12百万円増加し、324億84百万円となりました。これは主に、短期借入金が増加したこと等により流動負債合計が30億92百万円増加し、また、長期借入金、リース債務が増加したこと等により固定負債合計が57億19百万円増加したことによるものです。

ハ. 純資産

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ4億71百万円減少し、156億21百万円となりました。これは主に、第三者割当による自己株式の処分により資本剰余金が1億2百万円増加したことに加え、自己株式が26億28百万円減少したこと、親会社株主に帰属する四半期純損失30億65百万円を計上したこと、配当金1億46百万円を支払ったことにより利益剰余金が32億11百万円減少したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間において、現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の四半期末残高は108億27百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

イ. 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間△50億62百万円（前年同期21億93百万円）

営業活動の結果減少した資金は、50億62百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失43億30百万円、未払消費税等の減少額6億77百万円、賞与引当金の減少額5億2百万円、前受金の減少額4億45百万円、法人税等の支払額3億81百万円（前年同月比35.4%減）、減価償却費12億66百万円（同0.5%増）によるものです。

ロ. 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間△18億67百万円（前年同期△14億66百万円）

投資活動に使用した資金は、18億67百万円（前年同期比27.4%増）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出15億53百万円（同7.4%増）、敷金・保証金の差入による支出2億40百万円によるものです。

ハ. 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間 115億57百万円(前年同期2億54百万円)

財務活動により得られた資金は、115億57百万円となりました。これは主に、長期借入による収入53億円、短期借入金純増加額40億60百万円、自己株式の処分による収入27億31百万円、長期借入金の返済による支出7億30百万円(前年同期比40.7%減)によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、本感染症の影響を合理的に算定することが困難なことから公表を見送っておりましたが、当第2四半期連結累計期間の業績動向等を踏まえ、本感染症の影響が当連結会計年度末まで継続する前提のもとで、現時点で入手可能な情報に基づき業績予想を算定いたしました。

今期の見通しにつきましては、6月に営業を再開して以降業績は回復基調にあるものの、消費者の「3密」を避けるなどの行動変化及び外出自粛の傾向が継続しており、在籍会員者数が感染拡大前の水準に回復するまでには一定の期間を要するものと想定しております。このような環境を踏まえ、施設における運営コストの見直し、ならびに新たにオンラインを中心とした非対面のサービス等施設への来館のみに頼らない事業を進めてまいります。この新たな事業を今後スポーツクラブ会員だけでなく、従来当社が健康づくりの取り組みを行ってきた企業・健康保険組合、自治体などに対象を拡大し、収益の柱として成長させることで業績の回復を図る所存です。

以上により、2021年3月期の連結業績予想は、売上高320億円(前期比29.0%減)、営業損失40億円(前期営業利益32億67百万円)、経常損失45億円(前期経常利益30億42百万円)、親会社株主に帰属する当期純損失45億円(前期親会社株主に帰属する当期純利益13億78百万円)を見込んでおります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,180,812	10,811,618
売掛金	1,062,577	985,930
商品	258,280	271,668
その他	1,524,582	1,853,513
貸倒引当金	△5,939	△5,608
流動資産合計	9,020,313	13,917,122
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	8,442,313	8,494,999
リース資産 (純額)	6,988,265	8,689,892
その他 (純額)	3,495,460	3,752,228
有形固定資産合計	18,926,039	20,937,121
無形固定資産	1,025,103	1,008,816
投資その他の資産		
敷金及び保証金	8,389,351	8,703,215
その他	2,404,736	3,540,451
投資その他の資産合計	10,794,088	12,243,667
固定資産合計	30,745,230	34,189,604
資産合計	39,765,544	48,106,727
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	64,890	51,522
短期借入金	3,840,000	7,900,000
1年内返済予定の長期借入金	1,310,000	2,160,000
未払法人税等	534,264	126,344
賞与引当金	855,400	352,645
資産除去債務	65,171	—
その他	4,809,644	3,981,107
流動負債合計	11,479,371	14,571,619
固定負債		
長期借入金	2,250,000	5,970,000
リース債務	7,345,880	8,986,353
退職給付に係る負債	766,474	788,245
資産除去債務	971,744	1,114,576
その他	859,287	1,054,182
固定負債合計	12,193,387	17,913,357
負債合計	23,672,758	32,484,977

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,210,380	2,210,380
資本剰余金	4,711,080	4,813,515
利益剰余金	14,350,359	11,138,526
自己株式	△5,143,390	△2,514,753
株主資本合計	16,128,429	15,647,667
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,496	3,610
為替換算調整勘定	15,217	17,859
退職給付に係る調整累計額	△53,358	△47,386
その他の包括利益累計額合計	△35,644	△25,917
純資産合計	16,092,785	15,621,750
負債純資産合計	39,765,544	48,106,727

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	22,904,816	12,546,226
売上原価	19,767,391	14,299,484
売上総利益又は売上総損失(△)	3,137,424	△1,753,258
販売費及び一般管理費	1,303,121	1,162,843
営業利益又は営業損失(△)	1,834,303	△2,916,102
営業外収益		
受取利息	7,174	6,067
受取手数料	17,441	2,221
助成金収入	—	12,120
その他	16,984	25,053
営業外収益合計	41,599	45,461
営業外費用		
支払利息	123,724	143,321
その他	35,322	52,109
営業外費用合計	159,047	195,430
経常利益又は経常損失(△)	1,716,855	△3,066,071
特別利益		
固定資産売却益	268	—
雇用調整助成金	—	659,753
特別利益合計	268	659,753
特別損失		
固定資産除却損	21,129	1,242
店舗閉鎖損失	23,000	1,262
店舗休止損失	—	1,921,695
その他	160	82
特別損失合計	44,290	1,924,283
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,672,834	△4,330,601
法人税、住民税及び事業税	543,745	50,292
法人税等調整額	38,931	△1,315,624
法人税等合計	582,676	△1,265,331
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,090,157	△3,065,270
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,090,157	△3,065,270

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	1,090,157	△3,065,270
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	341	1,113
為替換算調整勘定	4,164	2,641
退職給付に係る調整額	4,601	5,971
その他の包括利益合計	9,108	9,726
四半期包括利益	1,099,265	△3,055,543
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,099,265	△3,055,543
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,672,834	△4,330,601
減価償却費	1,260,808	1,266,764
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	30,897	30,374
長期末払金の増減額(△は減少)	△28,401	208,100
賞与引当金の増減額(△は減少)	△70,716	△502,755
有形固定資産売却損益(△は益)	△268	—
固定資産除却損	21,129	1,242
店舗閉鎖損失	23,000	1,262
受取利息及び受取配当金	△7,290	△6,093
雇用調整助成金	—	△659,753
支払利息	123,724	143,321
売上債権の増減額(△は増加)	106,703	76,647
たな卸資産の増減額(△は増加)	41,835	△3,573
前払費用の増減額(△は増加)	△117,006	△72,016
仕入債務の増減額(△は減少)	△17,745	△13,367
未払金の増減額(△は減少)	△166,729	△108,290
未払費用の増減額(△は減少)	△95,299	71,485
前受金の増減額(△は減少)	29,733	△445,509
未払消費税等の増減額(△は減少)	186,934	△677,500
その他	△84,609	△190,338
小計	2,909,534	△5,210,601
利息及び配当金の受取額	221	139
利息の支払額	△125,073	△130,325
雇用調整助成金の受取額	—	659,753
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△591,223	△381,652
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,193,458	△5,062,687
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,446,508	△1,553,246
有形固定資産の売却による収入	740	—
無形固定資産の取得による支出	△109,503	△123,215
敷金及び保証金の差入による支出	△48,609	△240,371
敷金及び保証金の回収による収入	69,669	91,086
その他	67,997	△41,971
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,466,214	△1,867,719
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,600,000	4,060,000
長期借入れによる収入	400,000	5,300,000
長期借入金の返済による支出	△1,230,000	△730,000
リース債務の返済による支出	△222,355	△235,746
自己株式の処分による収入	—	2,731,071
自己株式の取得による支出	△89	—
配当金の支払額	△293,450	△146,693
セール・アンド・リースバックによる収入	—	583,850
その他	—	△5,008
財務活動によるキャッシュ・フロー	254,104	11,557,472
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,164	2,641
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	985,514	4,629,706
現金及び現金同等物の期首残高	2,759,281	6,197,831
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,744,795	10,827,538

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年7月28日の取締役会決議に基づき、2020年8月13日付でSOMP Oホールディングス株式会社及び住友生命保険相互会社を引受先とした第三者割当による自己株式2,603,500株の処分を行っております。この結果、当第2四半期累計期間において資本剰余金が102,434千円増加、自己株式が2,628,636千円減少し、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が4,813,515千円、自己株式が△2,514,753千円となっております。

(追加情報)

当社は、本感染症の拡大により、2020年3月にスタジオプログラム等を休止し、2020年4月から緊急事態宣言を受けた地方自治体からの休業要請により、当社施設は元氣ジム等のリハビリ施設を除くすべての施設を休業いたしました。

緊急事態宣言が解除されたことに伴い、6月よりスポーツクラブ等の施設の営業を再開しておりますが、入会者数の減少、退会者数及び休会者数の増加等を踏まえ、本感染症の収束後の業績の回復については、在籍会員数の回復とあわせまして、施設における運営コストの見直し、ならびに新たにオンラインを中心とした非対面のサービス等施設への来館のみに頼らない事業により、2021年3月までに感染拡大の前の状況に近づくと予測しています。

当社は、固定資産の減損等の会計上の見積りについて、上述した仮定をもとに算定しておりますが、当該仮定は不確実性が高く、今後の本感染症の影響が長期化した場合、当社グループの財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。